

映画「遠吠え」OAFF 入選作品！崖っぷちの人間たちが紡ぐ珠玉のブラックコメディ、シネマ・ロサに登場

女性目線で見ると？男性目線で見ると？見るたびに印象が変わる不思議な作品。たった1回のセクハラと1枚のハガキ、1件のアプリ通知で主人公隆二の日常が変貌していく。



池袋シネマ・ロサにて映画「遠吠え」4月16日(金)公開

大阪アジア映画祭(OAFF)入選作品、土屋土主宰のツチプロ(東京都新宿区)が手掛ける映画「遠吠え」が2022年4月16日(土)より一週間、池袋シネマ・ロサで上映します。本作は、土屋土の企画から始まり、シェーク M ハリスを監督に据え、主演を橋本一郎、プロデューサーは早川玲奈で固め、世代も枠組みも超えた「あたらしいカタチ」の映画です。

監督シェーク M ハリスの初長編作でありながら、大阪アジア映画祭インディーフォーラム部門に入選。映画好きなら必ずチェックする Filmmarks では、上映前から星4つに到達する勢いで、男女ともに、急転するストーリーに高評価だった。そして、遠吠えが行った初号試写でも脚本家の加藤正人氏からは、「表現せずにはいられないという俳優の熱情が創り上げた映画」とコメントがあり、映画監督・脚本家・俳優の佐藤佐吉氏からも、「まさに『世界がひっくり返る』映画。イライラするほどに情けない主人公がボンクラゆえに、人々を動かし、彼自身にも革命を起こす。ラストシーンに私はかつて味わったことのない爽快感を得た。」と、映画関係者も総じて高い評価を下している。

さて、映画「遠吠え」とは一体どういう作品だろうか。主人公の田之上隆二は、うだつが上がらない40歳、地位も名誉も金も女もない。僕はいつかやる！やるやる詐欺な毎日を過ごしていた。そんな隆二がセクハラでクビになった日、同窓会の案内が届く。それと同時に、マッチングアプリで連絡していた女子大生のアカネから、会いたいとメッセージが届き、喫茶店で父親殺害の願いをされる。隆二は、アカネに返事をしないまま同窓会へ参加し、初恋の相手千聖と、いじめっ子の土田勝徳に再会、彼の過去も巻き込んで、平凡な日常が急変していく…。

自分は何かやる特別な人間だと思い日々生き、やればできると思いながら、ただ時だけが過ぎてしまい、結局自分は何も変わらず、何も残さず、このまま終わっていくのではないか？あなたもこんな風に考えたことはありませんか。現状をひっくり返そうと、必死にもがくが、結局はどうにもならず、「しょうがないよね」と言いながら日々を過ごす。映画「遠吠え」は、主人公だけでなく、出てくるキャラクターのほとんどが「しょうがないよね」の束縛に囚われ、抜け出そうと四苦八苦する。この無様に運命に抗う姿は、どこか悲しくも

あり、滑稽に映るかもしれませんが。しかし、そんな人間の面白さを一歩引いた目線で描いた本作、ラブコメディ、ハリウッド大作では物足りないあなたへ送る一味違ったブラックコメディです。



遠吠えの名シーン

今回の制作チームは、年齢・性別はもちろん、キャリアに関係なく、新しい時代を敏感に感じて表現したいと思う人を起用しました。今までと同じでは太刀打ちできない世界になってしまったからこそ、コロナ禍のあたらしいカタチ。演劇界から製作総指揮の土屋士、CM業界からはプロデューサーの早川玲奈、撮影監督には映画界から斎藤文が参戦し、繊細な感性で切り取られる画をつくり、舞台業界からは大胆な色と光を作る照明の松本永が入る。録音や音楽制作はCM業界のプロたちが集まり、編集はシェーク監督の同期で映像ディレクターの坂根大悟。助監督には女優の木下千加が入り、タイトルロゴや宣伝デザインには、デザイナーのオオクラテツヒロが参加。そしてNCW（ニューシネマワークショップ）の卒業生たちがまわりを固めております。

なんと、ゼロ資金からスタートした遠吠えは、資金調達をクラウドファンディングで行い、本作出演の池上リヨマがリーダーとなって、総指揮の土屋士とプロデューサー早川玲奈、宣伝・広報の洪好綺を中心に、手探りで進めていっております。キャスト、スタッフ全員が宣伝活動を行い、クラファンによる支援者数は230名となり、みんなが見たいと思う映画が出来上がりました。

そして、全員の思いをのせた「遠吠え」がいよいよ、2022年4月16日(土)～4月22日(金)に池袋シネマ・ロサのレイトショーに登場します。今回は東京初の劇場公開、1回のセクハラと1枚のハガキ、1件のアプリ通知で、無様に運命に抗う隆二、そして物語の登場人物を大画面で見れるチャンスです。今なら上映前日まで、お得な前売り券を発売中です。お求めの際は、(toboe.ticket@tsuchipro.com)へ空メールをお送り下さい。返信メールにて予約方法をご案内致します。

また、一味違ったブラックコメディを上映したい劇場関係者の方々は、ぜひ両手と大声を上げ、ツチプロへご連絡ください。随所にこだわりを散りばめた映画「遠吠え」、スタッフ一同が自信をもってお届けします。

劇場情報ー

【日時】2022年4月16日(土)～4月22日(金)

【上映館】池袋シネマ・ロサ

【料金】一般 1,800円、大学専門 1,500円、中高 1,000円、シニア 1,100円、水曜 1,100円、前売 1,500円

【キャスト】橋本 一郎 高橋 ユキノ 小野 孝弘 池上 リョマ 小谷 沙奈恵 坂根 大悟 本田 宇蘭 土屋 士 蔵本 康文 小飯塚 貴世江

【監督】シェーク M ハリス

【スタッフ】製作総指揮：土屋 士 / プロデューサー：早川 玲奈（株式会社サンク） / 撮影監督：斎藤 文 / 照明：松本 永（eimatumoto Co.,Ltd.） / 録音：菊池 秀人 / 編集：坂根 大悟 / 音楽：広瀬 和奏 / 美術：吉岡 晶 / 衣装：岡上 亮輔 / ヘアメイク：宮崎 睦 / 制作：宇佐美 滉土 濱田 耕司 望月 亮佑 / 助監督：木下 千加 / カラーグレーディング：斎藤 文 / MA：株式会社テクニカランド / スチール：野村 芳輝 / メイキング：野村 芳輝 高木 良輔（株式会社 HOUND） 上岡 英門（株式会社 HOUND） / 宣伝・広報：洪 好綺 / タイトルロゴ・宣伝デザイン：オオクラ テツヒロ / 車両：東野 圭 / キャストケア協力：藤沢 美由紀（有限会社マシ） / 協賛：株式会社サンク / 企画制作：演劇 集団ツチプロ

◎遠吠え特設サイト ツチプロ公式ホームページ <http://www.tsuchipro.com>

◎「遠吠え」公式 Facebook <https://www.facebook.com/information.winnersclub>

◎「遠吠え」公式 Instagram <https://www.instagram.com/tsuchipro55/>

◎「遠吠え」公式 Twitter <https://twitter.com/Tsuchipro55>

◎「遠吠え」Motion Gallery ページ <https://motion-gallery.net/projects/tsuchiya-haris>

【お問い合わせ】



ツチプロ 映画遠吠え製作部

総指揮 土屋 士 / プロデューサー 早川 玲奈 / 宣伝・広報 洪 好綺

サイト：<https://tsuchipro.com/>

e-mail：information.winnersclub@gmail.com